

児童発達支援事業所事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

事業所名 いんべ通園センターもみじ

公表:令和 8年 3月 17日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	5	利用者個々の状況や活動内容に合わせてセンター内の共有スペースを利用している。	利用者個々の距離感に配慮し、安全に快適に過ごせる環境づくりに努めます。長期休みになると人数が多く、狭い。
	2 職員の配置数は適切である	2	5	看護師が少ないが、本部からの応援で1名来てもらっている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6			個々に合った設備となるように工夫や修繕を行い、分かりやすく、使いやすい環境にしていきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		毎日考慮しながらしている。	清潔で心地よい環境づくりに努めます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			PDCAサイクルを理解し、広く職員が参画し業務改善を進めていきたいとおもいます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			評価結果について個々のスタッフに周知し、業務改善につなげたいと思います。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		随時、より良いアセスメントツールを取り入れていきたいと思います。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	毎月1回、部署内での振り返りを行い、次の月に反映できるようにしている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		勤務時間が異なるので必ずしも毎日行っていないが、都度行っている。毎月1回、部署内での振り返りを行っている。	気付いた点等があれば、随時情報を共有したいと思います。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		勤務時間が異なるので必ずしも毎日行っていないが、都度行っている。毎月1回、部署内での振り返りを行っている。	気付いた点等があれば、随時情報を共有したいと思います。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			適切な記録を残すことと共に記録後の支援の検証・改善につなげていきたいと思います。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7				
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			最適な者が参画できるように、また参加者が最もふさわしいものとなるようスキルアップを図りたいと思います。	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	関係機関からの要請に応じて見学の受け入れや会議に参加している。	今後もより良い子どもの成長のために関係機関と連携する。	
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1	関係機関からの要請に応じて見学の受け入れや会議に参加している。	今後もより良い子どもの成長のために関係機関と連携する。	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2		現在は対象者がいませんが、対象となる子どもがいる場合は、積極的に連携を図っていきたく思います。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			見学等の希望があれば受け入れている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		備前市・赤磐市合同療育研修会に参加し、スタッフのスキルアップを図っている。	継続して備前市・赤磐市合同療育研修会に参加したいと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3			新型コロナのため交流できていませんでしたが、今後希望があれば検討したいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	2			協議会等へ当事業所の取り組みを伝え、連携した支援をしていきたくと思います。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	4	2			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2		保護者会はないが、親子参加の行事を通して家族同士のつながりを持てるようにしている。	親子参加の行事の実施を通して、家族同士のつながりを持てるように努めたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6				withコロナの時代に入り、コロナ前に地域住民を招待して行ってきたいんべ通園センター祭りに地域住民を招待することになっています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6				
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6				アセスメントを適切に取ることや医療機関と連携を取りたいと思います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				対象者がいませんが、対象者が出た場合は、医師の指示書に基づいて適切に対応します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				ヒヤリハット事例集を適切にスタッフ間で共有したいと思います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6					

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 3月 6日

公表:令和 8年 3月 17日

事業所名 いんべ通園センターもみじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	4	利用者個々の状況や活動内容に合わせてセンター内の共有スペースを利用している。	利用者個々の距離感に配慮し、安全に快適に過ごせる環境づくりに努めます。
	2	職員の配置数は適切である	5	2	看護師が少ないが、本部からの応援で1名来てもらっている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1	トイレは常設のものでは子どもや寝たきりの方は使いづらいため、ポータブルや尿器を使用している。	個々に合った設備となるように工夫や修繕を行い、分かりやすく、使いやすい環境にしていきたいと思っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			PDCAサイクルを理解し、広く職員が参画し業務改善を進めていきたいとおもいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		随時、より良いアセスメントツールを取り入れていきたいと思っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			活動が固定化しないように、活動プログラムの見直しを行っていきたいと思っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6		平日の学校放課後の利用は行っていないので、平日の終日利用がある方については、長期休暇との総合的な課題とし支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		勤務開始時間が異なるので、支援開始前は難しいことがある。月1回は、必ず部署内で会議をしている。	気付いた点等があれば、随時情報を共有したいと思っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		勤務終了時間が異なるので毎日行っていない。月1回、部署内で会議をしている。	気付いた点等があれば、随時情報を共有したいと思っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			適切な記録を残すことと共に記録後の支援の検証・改善につなげていきたいと思っています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			最適な者が参画できるように、また参加者が最もふさわしいものとなるようスキルアップを図りたいと思います。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		今後もより良い子どもの成長のために関係機関と連携する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		現在は対象者がいませんが、対象となる子どもがいる場合は、積極的に連携を図っていききたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			積極的に研修に参加し、スキルアップを図りたいと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4		新型コロナのため交流できていませんでしたが、今後希望があれば検討したいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3		協議会等へ当事業所の取り組みを伝え、連携した支援をしていきたいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	3		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		親子参加の行事の実施を通して、家族同士のつながりを持てるように努めたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			withコロナの時代に入り、コロナ前に地域住民を招待して行ってきたいんべ通園センター祭りに地域住民を招待することとしています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			保護者にしっかりと周知し、安心して利用して頂けるようにしたいと思います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	6			対象者がいませんが、対象者が出た場合は、医師の指示書に基づいて適切に対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			ヒヤリハット事例集を適切にスタッフ間で共有したいと思います。